



マルナカ株式会社から融雪剤の寄贈

11月20日、マルナカ株式会社から村へ融雪剤120袋を寄贈いただきました。交流センター「ふれ愛館」で行われた贈呈式には、同社の遊佐憲治取締役副社長、長正増夫行政区長会長、杉岡村長らが出席しました。同社には、これまで5年間にわたり、環境省が発注する村内仮置き場の除草工事を通して、村の環境保全にご尽力をいただいています。「冬期の村民の皆様の一助になれば」と昨年が続く2度目の寄贈をいただきました。



審判員の服装に身を包んだ菅野さん。審判を務める際には団体で制定するネクタイやバッジなどを着用します。

陸上公認審判員で活躍!菅野清さん

福島陸上競技協会で監事を務める菅野清さん(草野)。日本陸上競技連盟の公認審判員として、11月に福島市で開催される「東日本女子駅伝」など、さまざまな大会で審判を務めています。30年以上の活動を経て、昨年4月に「S級」公認審判員となりました。また昨年は、飯館村スポーツ推進委員としての長年の貢献により、県の表彰も受けています。「選手の成長する姿に喜びを感じる」と菅野さん。今後も大会を支える立場で、ますます幅広いご活躍を。



第3回区長杯にて。

二枚橋・須萱行政区のパークゴルフ大会

10月22日、二枚橋・須萱行政区のパークゴルフ大会『第3回20区区長杯』が開催されました。同行政区では、昨年11月に第1回を開催、今年度は7月に第2回を開催するなど、パークゴルフを通じたコミュニティ活動に力を入れています。



左は7月開催の第2回区長杯。



婦人会が美化活動と研修を実施

9月30日、飯館村婦人会(長谷川花子会長/前田)が、白石地区から村役場までの区間を歩きながら、「きれいな村であってほしい」と願いを込めて、美化活動を行いました。15人の会員が参加しました。また10月14日・15日には、宮城県南三陸・気仙沼方面への視察研修を行い、東日本大震災の津波被災地を見学しました。その後は会の親睦会を行い、会員同士の交流を深める楽しい時間を過ごしました。村婦人会では、新規会員を募集しています。



経産省へ出張販売したラカッセの佐藤雄紀さん。今回の販売は村に派遣されている経産省職員のコーディネートで実現しました。

ラカッセの特製弁当を経産省で販売

11月9日、田舎レストランLaKasseの特製弁当が、経済産業省(東京都)で特別販売されました。牛肉の味噌漬けローストビーフや野菜のピクルス、ナツハゼの混ぜご飯など、飯館産の食材を中心とした献立で、70食が約5分で完売する人気ぶり。購入者へのアンケートでは「とても美味しかった」「お店に行ってみたい」などの高い評価をいただきました。



和気あいあいと「男性のつどい」

11月21日、交流センター「ふれ愛館」で『男性のつどい』が開かれました。孤立しがちな男性に集団での活動を楽しんでもらおうと、「相馬広域こころのケアセンターなごみ」(南相馬市)が、「あがべご訪問看護ステーション」や村役場などと協力して開催しています。今回はサンドイッチとケーキづくりに挑戦です。「生クリームを塗るのは初めて」「きれいにできたね」などと会話をしながら共同作業を楽しみました。完成品はおいしいコーヒーと共にいただきました。



タキ子さんと夫の誠一さん。右の写真が11月半ばに咲いたアジサイの花。

小春日和にアジサイの花

鳴原タキ子さん(長泥)から広報へ、花便りをいただきました。季節外れのポカポカ陽気にアジサイの花がほころんだそうです。早速川俣町の自宅へお邪魔すると、日差しを浴びて淡い色のアジサイが咲いていました。鳴原さん夫婦は、避難先の川俣町に3年前に自宅を建て家族で暮らしていますが、長泥には足しげく通ってきました。「景色も様変わりしたし家もないけど、やっぱり落ち着く。ふるさとなんだよ」。長泥の庭にもたくさんの花が咲いていたそうです。



「飯館電力」チャリティ募金で寄附

10月24日、『第4回飯館電力杯 村民ゴルフ大会』が開催され、参加者の皆さんから村へ寄附をいただきました。このゴルフ大会は、飯館電力株式会社(菅野宗夫社長/佐須)が主催し、伊達市霊山の「パーシモンカントリークラブ」で行われたものです。今年の参加者は34人で、大会の開催を通してチャリティ募金が行われました。寄附された2万2,734円は、「いいたてっ子未来基金」に積み立て、子ども達の教育支援に活用させていただきます。